



誰でも簡単に使え、かつ環境に優しい小型焼却炉「チリメーサー」。沖縄方言で「ゴミを焼く」という愛きょうある名称。開発したのはトマス技術研究所の代表者 福富健仁さん。「技術を通した環境改善」を理念に掲げ、日々開発に取り組んでいる。

小型焼却炉 チリメーサー 福富健仁 (42) 西原町



右側がチリメーサー。1時間あたり45kgの廃棄物の処理が可能。左側のドラム缶部分は廃熱利用給油設備。チリメーサーとパイプでつながっており、焼却熱で沸かした湯を貯溜しておける。「湯を多く使う病院やホテル、老健施設等にもお薦めしたい」と福富さん。



チリメーサーは一般の「みやま生」や「廃プラスチック」など可燃「ゴミ」の処理が可能。廃棄物を高温で完全燃焼させるため、焼却灰は非常に細かく少量。一度廃棄物を減らすことで、最終処分場の負担も軽減できます。



開発者の福富健仁さん。製品に関するお問い合わせは株式会社トマス技術研究所 ☎098(882)8515まで。

環境に優しい優れもの

独立のきっかけは平成14年に施工された「ダイオキシン類対策特別措置法」。「ドラム缶などでゴミを焼くことが禁止になり、町工場や建設現場は頭を抱えていました。業者にゴミ処理を頼むとかなりの出費になります。簡単に使え、かつ置き場に困らない焼却炉をとの声が多く...

需要に届えたい 専門学校で工学の講師を務めたのち、メーカーに就職。プラント機器の設計などを行っていたという福富さん。上がったおり、その要望に届えたいと思っただけです。思いついたら即行動。アイデアを形にすべく集中して取り組み、4回をわずか3日で完成させた。目指したのは、焼却の...

さらに処理能力アップ！ 中型焼却炉



小型焼却炉「チリメーサー」を土台に開発された中型焼却炉「TG-195」。「設計は私、電子制御機器製造を株大成電気製作所、機械製造を琉球球動力が行いました。プロフェッショナルの技術を結集した設備です」と福富さん。1時間あたり約200kgもの廃棄物を処理できる。廃油なども燃料に使用でき、環境にも優しい。平成18年に産業まつり県知事最優秀賞を受賞し、さらに2006年には地球温暖化防止活動環境大臣賞を受賞した。

ノズルの設置によって温度は制御できたものの、新たな問題が発生。焼却の際に炉内が高温になることや発生するガスが原因で、ノズルがたちまち腐食してしまっただけ。ノズルの耐久性強化に向け、琉大と共同で構造や材質を研究。試行錯誤を重ね、平成15年にチリメーサーは完成した。...

熱利用しさらに進化 燃焼も含め高さ3.6m幅1m、奥行1.8mとコンパクトな上、ゴミを投入し、ボタンを押して着火すれば焼却完了まで自動運転。誰でも簡単に扱える。またゴミを完全燃焼させるため、焼却灰は非常に細かく少量。1tの木材からわずか3kgの焼却灰しか出さない。その優れた性能から、平成16年には沖縄産業まつり県知事最優秀賞を受賞した。...

サーマルリサイクルとは



サーマルリサイクルとは廃棄物を単に焼却処理するだけでなく、焼却の際に発生する熱などのエネルギーを利用すること。「チリメーサーは高温で焼却していますのでその熱には大きな利用価値がある。CO2の削減にもつながるし、枯渇しつつある石油にも頼らずに済みます」と福富さんは話す。